

依存症に係る社会資源実態調査について

1 調査目的

依存症の回復には、相談機関、医療機関、回復施設等民間支援団体が連携して切れ目ない支援を行う必要があるため、県内のアルコール、薬物、ギャンブル等の依存症に係る相談機関、医療機関、回復施設等民間支援団体を対象に活動状況、各施設が抱える課題、患者の受入れ状況等の実態調査を行い、依存症患者支援の連携のあり方について検討し、必要な支援と切れ目ない連携体制を構築するための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査対象者

県内のギャンブル等依存症に係る相談機関、医療機関、回復支援施設等

3 主な調査内容

- ・施設概要
- ・支援内容
- ・関係機関等との連携状況
- ・依存症患者が診療に至った経緯
- ・早期介入、早期支援の取組
- ・退院後支援の取組
- ・依存症の診療を進める上での課題

4 調査方法

調査票を調査先に郵送。回答方法は郵送及びインターネットによる。

5 調査期間

令和2年11月2日～11月16日

6 調査委託先

株式会社 グループワークス